丸子農産物直売加工センター(あさつゆ)農産物栽培情報

まきどき・植えどき・収穫どき どきどき情報

2月

No 66 2009年 2月 1日発行

野菜の作業

ハウス育苗野菜の播種 春レタス

たねまき

: ステディー,ウイザード キャベツ

: SE、YRSE 中旬~ 春ハクサイ

:優黄、彩黄 下旬~ ネギ

: 夏扇 2号 中旬~ セルリー

: トップセラー 上旬~ ブロッコリー

:緑帝,川ツ 中旬~

果菜類 (トマト・ピーマン・ナス等)

ハウス用:下旬~

(キュウリ)

ハウス用:下旬~ など

栽培管理のポイント

育苗は、品質の高い野菜を収穫するためには大きなポイントであり、昔から「苗 半作」といわれるようにきめ細かな管理で質の良い苗作りをしたいものです。

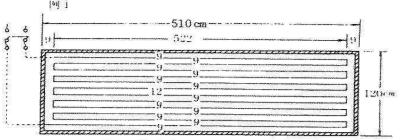
育苗期間には「発芽」と「生育」の大きく二つのステージに分かれますが、適温となるよう温度管理に注意を払いましょう。なお、冬期間の育苗は温度不足や温度むらになりやすいので、温床線などの活用をお勧めします。(右ページ参照)

野菜類の発芽適温と育苗適温

種類	発芽適温()			育苗適温
	最 低	最 適	最高	
キャヘ゛ツ	4	15~ 30	35	15~ 20
ハクサイ	4	18~ 22	35	18~ 20
ブ ロッコリー	2~3	15~ 25	35	18~ 22
レタス	3~ 4	15~ 20	30	23~ 24 を目安の換気
パ。セリ	3~ 4	18~ 22	30	日中 2O 、夜間 1O~ 12
ホウレンソウ	O~ 4	15~ 20	30	
セルリー	3~ 4	15~ 20	30	20
171	10	20~ 30	35	育苗前期:日中 23~ 25 、夜間 14~ 16
				育苗後期:日中 21~23 、夜間 12~14
キュウリ	15	25~ 30	40	育苗前期:日中 20~ 24 、夜間 15~ 20
				育苗後期:日中 20~ 22 、夜間 13~ 15

* 主要野菜の主	Eな作型に	よる作期の目室	₹ (• • •	:摺	種、		: 江	植、		:	収穫)	
	標高	<i>U</i> − ∓∪					昨		期(月])			
品目	・地帯	作型	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
レタス	500	移植	• •	• • • •		-							
	~ 700	移植				•••							
		移植							• -				
ハクサイ	寒冷地	移植(トンネル)		•	• • •								
		移植マルチ											
		移植マルチ							•••				
キャベツ	400	移植		• • •	••	-							
	~ 600	移植							• • •	-			
ブロッコリー	寒冷地	春まき		• • •	• • • • •								
		初夏まき						• •					
トマト	寒冷地	ハウス雨よけ			• • • •								
		ハウス抑制						• •					
ピーマン	寒冷地	早熟トンネル			• •		-						
		普通											
キュウリ	寒冷地	半促成無加温			•	-							
		ハウス雨よけ			•	• •							
		普通				•							

温床線の張りかた



65m の温床線6.6m に配線 (3.3m' 当り250W 主として発芽床に用いる。

(注)設置方法等の詳細は、「どきどき情報」 (2004年11月1日号)を参考にご覧ください。

温床線の種類(農業と生活vol.526より)

種別	電圧	電力	電線長	使用		
1273	(v)	(w)	(m)	面積		
単相	100	250	3 1	約1坪		
	100	500	4 0	約2坪		
	100	500	6 2	約2坪		
	100	1000	1 2 0	約4坪		
	200	500	4 0	約2坪		
	200	500	6 2	約2坪		
	200	1000	1 2 0	約4坪		
三相	200	500	4 0	約2坪		
	200	500	6 0	約2坪		
	200	1000	1 2 0	約4坪		
平行線	200	500	4 0			
	200	500	6 0			
	200	1000	1 2 0			

農業豆知識

「新しい品目・作型に挑戦!!」

セルリーの栽培

みずみずしいセルリーは、香り豊かで歯ざわりも良く、生でもスープなどにも入れ てもおいしい野菜です。栽培は、少し難しいですが挑戦してみたい野菜の一つです。 セルリーは、涼しい気候を好み乾燥にも弱いので出来れば700m以上でかん水の 出来ることが条件となります。(600m以下では難しくなります。)

品種的には、コーネル619やトップセラーなどの品種があり、品質が高い反面栽培 にやや難しい面があることから、比較的作りやすい「グリーンセルリー」を紹介しま す。播種は、2月上旬~5月中旬頃までで育苗箱を用い種をスジまきし、覆土はせず にかん水をしたら新聞紙をかけて乾燥を防ぎ、発芽したら取り除いてください。

本葉1~2枚の頃、込み合っているところを間引き、本葉3枚の時期になったらポ ット(3号)に鉢上げし本葉が7~8枚程度まで育苗します。

定植は畦幅135~150cm程度で10~15cmの高畝をつくり条間40cm・株間



「グリーンセルリー」

40cm程度で定植します。定植後は十分かん水するとともに15~20日後及び40日後の頃に追肥を行い、敷 きわら等を行い乾燥を防ぐとともに土の跳ね返りを軽減します。収穫は大株になったものから順次収穫し、遅れ ると硬くなってしまうのでなるべく 若いうちに収穫するように心がけましょう。

セットタマネギ(検討品目として)

各地の直売所で最近注目されているのが、冬に出荷する「セットタマネギ」です。セットタマネギとは、苗から スタートするのではなく、苗の代わりに「セット球」を植えるのが特徴です。



セット球は「ホームたまねぎ」(タチイ)として購入する方法と種を蒔いてセット球を つくる方法があります。セット球を作るには3月下旬頃には種し、5月下旬頃に直径 2 . 5 cmほどの小玉で堀上げ夏場風通しの良いところで貯蔵します。これがセット球 で8月末に本圃へ定植します。その後、葉が出て肥大が進み、11月下旬から12月 にかけて250g程度の玉に成長し収穫が出来るというものです。なお、以上の播種・ 定植時期は比較的暖かい地域での作型ですので上小地域では、播種に当たってはハウ

植付け用の「セット球」

スの利用、播種期の検討や定植の前進化など地域にあった栽培時期の検討等が必要と 思われますが、貯蔵物のタマネギしかない時期に新鮮なものを提供できれば、調理方法等の用途も広がり人気も 高まるのではないでしょうか。是非、検討してみてはいかがでしょうか。

あさつゆ連絡先 電話:FAX 41-1062

技術事項作成協力:上小農業改良普及センター 地域生活係 中澤普及員(25-7156)